

【中央公民館】

- ・一般市民が無料で参加できる英会話教室があればよいと思う。季節労働者で入ってくる外国の方と会話ができるなど、英会話に興味を持つきっかけになると思う。

⇒英語に馴染む機会は非常に重要であると思いますので、そのようなことが実現できるか検討していきます。

- ・深川で頑張っている若者のため、私たち大人がもっと深川って住んでて楽しいまちだと思えるようなことをしてあげたい。漠然としているが、そのために何かお手伝いができることがあればしたい。昔のビールパーティのような盛り上がりを見せてあげたい。

⇒こうした声を上げてくれる方々が集いやすい環境づくりなどを色々な施策の中でできればと思います。

- ・子育て世帯への支援は良いことだが、その子どもたちが深川に残ってくれるかが問題。子どもたちが深川に残り続けてくれるまちづくりも必要だと思う。人口が減っていくのは目に見えているので、その視点でまちづくりを考えると、ちょっと違う見方ができるかもしれない。また勤めるところがないため、せっかく手厚く支援した子どもたちが都会へ出てしまうのは寂しいので、農業を軸とした企業を起業するなど「お米のまちふかがわ」ならではのプランニングをしてはどうか。

⇒深川市は農業が基幹産業ですので、農業が元気になれば、深川市が元気になるというふうに思っていますし、このすばらしい農地は深川市にとっての最大の財産だというふうにも思います。農家が元気になる取り組みを進めることで、後継者だけではなく、就農者などが増えることにもつながると考えています。また、働く場所に関しては、必ずしも働く場所がないわけではなく、特に医療・介護施設については、他の周辺町あるいは他の市に負けない規模があり、当然働く方も必要になっていますが、それが若い方たちの就職意欲とマッチングしているかといった解離をどう解消していくかが重要だと思っています。

- ・複合施設に太陽光を付けるのであれば将来を見据えて最先端のものにした方がよい。屋根につけるタイプだと雪で発電ができないなどの問題もあるので窓や壁に付けるフィルムタイプにするとか。

⇒設置の有無も含めて検討しています。

- ・カラオケボックスを中学生同士で行けるようにして欲しい。

⇒こうした意見があったことについては、しっかりと学校に共有します。

- ・駅前商店街がとても寂しく、蕎麦のまちなのに蕎麦屋がない。空き店舗も目立っていて休む場所もない。蕎麦に関して言えば、例えば幌加内高校や三笠高校で料理の勉強した若者がいると思うし、深川にもやってみたいと考える子はいると思う。そういう若者がチャレンジできる環境があるといいと思う。

⇒複合施設の中にチャレンジショップを設ける話し合いを進めており、それを見た上で他の場所にも波及できないかなど検討していきます。また、複合施設はゆっくり休んでくつろげるような場所としても計画を進めているところです。

・高齢者が増え、人口が減ってきている中、子どものために予算を使うというのは、何を担保にしているのか。例えば深川に残ってもらうことをビジョンに掲げてお金を出そうとしているのか。また新しい施設を建設するのは何のためなのか。行政が支援するのは良いが、経済活動が豊かにならないといいまちにはならないと考える。こういうまちづくりして人を集めるといった先のビジョンを明確にして、高齢者にも若い方にも説明していくとよい。

⇒年間 400 人近く人口が減少しており、特に高校卒業あるいは大学を卒業するタイミングで 100 人単位の人口が減少しているのが実態であるため、働き口、就職先が何よりも大事だと思っています。

その上で、深川で育った方が市内に残ってくれる確率が 1 番高いと考えますので、子どもを産み育てるという施策をしっかりと取り組み、その方たちが、この深川に住み続け、仕事・家庭を持つということを継続することが何よりも大事だと思っています。その取っ掛かりとして、まず第 1 段階は少子化対策ということで始め、少しでも子育て世代の方に深川のまちを選んでもらえるような施策を今進めているところです。

先のビジョンというところを明確にしていかなければ、説明が足りないというのは、ご指摘のとおりですので、そのビジョンをしっかりと立てていくことが、このステップの中では非常に重要だと今まさに考えています。

いずれにしても、行政だけで出来ることではなく、経済界・商業・農業・工業を担っている働く世代や年金生活をされている世代の方の力も借りなければ、まちは成り立たないという状況でありますので、市の取り組みをわかりやすく伝えていきます。

・分かりやすい人口ビジョンがあるとよい

⇒柱、軸というものを明確にしたビジョンを持つ必要があると考えています。